

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	食を通じた健康づくり推進事業			事業番号	01-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	井上 稔	健康づくり課	高橋 健一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる	
		施策	1	自ら取り組む健康づくりの推進	
予算事業名	食育普及事業費		地域食習慣改善推進事業費		
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	食育基本法、健康増進法				
国・県の計画等	第2次食育推進基本計画、第2次神奈川県食育推進計画、健康日本21、かながわ健康プラン21			計画期間	国：平成24年度-平成28年度、県：平成25年度-平成29年度
関連個別計画	第2次伊勢原市食育推進計画、健康いせはら21(第2期)計画			計画期間	平成25年度～平成29年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	国民の食生活においては、エネルギーや食塩等の過剰摂取や野菜の摂取不足等の栄養の隔たり、朝食の欠食に代表されるような食習慣の乱れが見られ、これらに起因する肥満などの生活習慣病や若い女性のやせ、高齢者の低栄養傾向等の健康面での問題が指摘されています。				
目的 (何をどうしたいのか)	すべての市民が生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにするための手段として、「食育の推進」は重要な要素であることから、子どもから高齢者まで幅広い年代に食教育や食相談などの知識を得る機会を広げることで、市民生活の質(QOL)を確保し、健康づくりを推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び在学・在勤者				
事業内容 (手段、手法など)	・全てのライフステージで間断なく食育を推進していくことができるよう、食育に関連した組織とのさらなる連携の強化を図り、市民の食に対する意識の向上に努めます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	食育推進の為の教育・相談	継続実施	継続実施		
	地域で食育を推進する人材育成	継続実施	継続実施		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	栄養教育・栄養相談の参加者数	2,840人	2,850人	2,950人	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	市民の健康維持・増進を図るため、料理コンテストを開催するほか、食育推進のための各種教室や相談を実施するなど食生活の向上を目指します。また、第3次伊勢原市食育推進計画[平成30年度～平成34年度]を策定するため計画策定委員会を設置し策定作業を進めます。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
		伊勢原市食生活改善推進団体		
		地域公民館における生活習慣病予防の料理教室の実施		
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	食育推進の為の教育・相談	継続実施	継続実施	
	地域で食育を推進する人材育成	継続実施	継続実施	
実施した取組の内容				
食育推進の為の教育・相談(食育セミナー・思春期食育事業・血糖値セミナー・サラサラしなやか血管セミナー・ヘルスアップ相談)、地域で食育を推進する人材育成(ヘルスマイト養成講座)、食育料理コンテスト(小学生・中学生・高校生)				
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	栄養教育・栄養相談の参加者数	2,840人	3,332人	3383人

	年度		28年度 実績				29年度 実績				
コスト	事業費合計 (a)		1,782		千円	2,625		千円			
	内訳	国県支出金 ①		0		千円	0		千円		
		地方債 ②		0		千円	0		千円		
		その他特財 ③		136		千円	114		千円		
		一般財源 (a)-①-②-③		1,646		千円	2,511		千円		
国県支出金の内容											
その他特財の内容	受益者負担		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期						
	その他		料理を伴う健康教室(いせはら食育セミナー・血糖値セミナー・サラサラしなやか血管セミナー)参加者の食材費								
人件費	正規職員		1.69	人	14,619	千円	1.61	人	14,055	千円	
	その他の職員		0.00	人	0	千円	0.14	人	339	千円	
	人件費合計 (b)		1.69	人	14,619	千円	1.75	人	14,394	千円	
トータルコスト (a)+(b)				16,401	千円			17,019	千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	栄養教育・栄養相談の参加者数			単位	栄養教育・栄養相談の参加者数			単位	
		対象数	3,332	人	3,383	人					
	総事業費 / 対象数		4,922	円	5031	円					

↓ 評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	食育を推進する人材育成事業「ヘルスマイト養成講座」・「食育コンテスト」などを実施、また、食育推進連絡会議や食生活改善推進団体との連携を図り、食育での生活習慣の改善を含めた健康づくりの推進により、健康と栄養に関する意識啓発が図られています。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	計画策定や諸会議の開催については、他市と同水準で実施しましたが、料理コンテストは、小学生・中学生・高校生と幅広く実施しました。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	「食育の推進」は、子どもから高齢者まで幅広い年代に食教育や食相談などにおいて、食に関する知識を習得し、生活習慣を見直すなど、食に関する意識啓発を行うことで、健康づくりを推進しました。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	食育事業をより効果的に推進するため、第3次伊勢原市食育推進計画の策定を行いました。また、第2次伊勢原市食育推進計画の最終年度として計画の着実な遂行をしました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	第3次伊勢原市食育推進計画策定で上げられた課題については、壮年期男性の食育や若い世代への食育の強化をする必要があります。また、子どもの頃から食の自立をめざした食育や地域ぐるみの高齢者の食育など、健康寿命の延伸をめざした食育が課題となっています。
次年度以降の取組の方向性	第3次伊勢原市食育推進計画の重点目標である、食を通じて適正体重を維持すること、食育で生活習慣病の予防をめざすことを中心に、各種の食に関するための教室や相談を実施するなど食生活の向上を目指します。
所管部長による総評	第3次伊勢原市食育推進計画～食で育むいのちときずな～を着実に遂行することが必要となります。